

2002年度ジェロントロジー研究助成対象者リスト

No	氏名	所属	研究テーマ	研究形態	決定金額(万円)
1	松田ひとみ	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 教授	独居女性高齢者におけるルサンチマン体験と入院生活を回避するための戦略	共同	50
2	田中千歳	和歌山大学 システム工学部 助手	高齢者・障害者などを配慮した地域福祉システムの構築と福祉の町づくりに関する実践的研究 -高齢・過疎の町を事例とした住環境再編整備をとおして-	個人	50
3	杉原百合子	同志社大学大学院 文学研究科 大学院生	痴呆症の病名および予後の告知に関する研究	共同	50
4	志村ゆず	長野県看護大学 講師	痴呆性高齢者の家族介護者の心理教育的プログラムの効果の検討	共同	50
5	北本佳子	城西国際大学 福祉総合学部 助教授	在宅高齢者・家族支援を行う住民参加型在宅福祉サービス団体の特性に関する研究 -特にマンパワーを中心として-	共同	45
6	三田寺裕治	淑徳短期大学 講師	福祉サービスにおけるリスクマネジメントに関する研究	共同	50
7	小松光代	京都府立医科大学 助手	重度痴呆性高齢者のコミュニケーションに関する研究 -介護者の声かけとその音声的特長に着目して-	個人	50
8	田上美千佳	東京都精神医学総合研究所 研究員	統合失調症患者をもつ高齢者家族への支援に関する研究 -統合失調症患者をもつ高齢者家族の心理社会的な影響および、看護援助に関する研究-	共同	50
9	早坂聡久	文京学院大学 講師	特別養護老人ホームにおけるユニットケア導入に関する研究 -ユニットケア導入前後の比較をとおして-	共同	50
10	川西恭子	全国精神障害者社会復帰施設協会 事務局次長	夫婦のみの世帯における介護者の生活満足度に関する研究 -高齢夫婦世帯に焦点をあてて-	共同	50
11	高橋亮	高崎健康福祉大学 講師	養護教育課程におけるジェロントロジー教育の現状と意義に関する調査 -その1: 高等部の生徒と教師を中心に-	共同	35
12	石井京子	大阪市立大学 看護短期大学部 教授	高齢者が望む人生の最期を迎えるための死の準備教育プログラム開発の実践的研究	共同	50
13	堀内園子	東京都立保健科学大学 助手	痴呆性老人へのリフレッシュケアプログラムの開発	個人	44
14	住居広士	広島県立保健福祉大学 教授	1分間タイムスタディの検証による介護モデルの構築に関する研究	共同	44
15	永峯卓哉	県立長崎シーボルト大学 看護栄養学部 助手	介護予防のためのミニディサービスに関する研究	共同	44
16	藤井美和	関西学院大学 社会学部 助教授	世界保健機関高齢者QOL尺度(WHOQOL-OLD)の信頼性と妥当性の検証	個人	44
17	久松信夫	東久留米市東部在宅介護支援センター ソーシャルワーカー	軽度痴呆性高齢者を介護する家族の「痴呆症」認知・受容課程におけるソーシャルワーク機能	個人	44
				助成額計	800

※共同研究の場合、代表者のみ記載
※所属は研究完了時を記載